

WE21 ジャパン大和 2024 年度 事業報告

活動方針	活動点検・評価
1. 民際支援事業 アジアの人々の生活向上と自立のための活動を支援・連携していきます。 1) 支援事業をすすめるため、必要な講座へ参加し理解を深めます。 2) アジアの女性たちの生活向上に寄与することを目的として、フェアトレード品を継続して扱います。 3) 海外NGO、国内NGOのプロジェクト支援をおこないます。 ・必要に応じ緊急支援に取り組みます。 4) 10 月の世界貧困撲滅デーに向けた取り組みをします。	1. 民際支援事業 1) 支援先の状況については、講座への参加はできませんでしたが、支援先等から送られて来る資料やインターネットでの情報をもとに理解を深めることができました。 2) フェアトレード品を継続して取り扱っています。 ・しょうがパウダーの販売価格が9月より900円から1200円に変更されることになりました。 ・しょうがパウダー連絡会が設置され、仕分け作業等を各ショップが分担して担うことになりました。 ・フェアトレードフェアを11/11と11/12に実施しました。2日間の売り上げは11,260円でした。 ・両日共にしょうがパウダー、コーヒーの試飲を実施し、11/11にはカレーの試食を実施し、好評でした。カレー用のお米は分けて頂いたカンボジアの有機米を使用しました。 ・その他取扱品目：ヘナ 3) ・台湾地震緊急募金を実施し、募金額6,811円を含む3万円の寄付を実施しました。(ピースウィンズ・ジャパン) ・能登半島豪雨災害への緊急支援でジャパンハートに5万円を寄付しました。 4) ・10/1より10/19まで店内掲示をしました。 ・9月18日のボランティアミーティングで「貧困なくそうキャンペーン」の事前学習と「みんなで布チョッキン」、コースターづくりを実施しました。 参加者：7人 ・当日売り上げ 14,540円 - 募金箱 12,460円 合計 27,000円 CYRの解散に伴い、フードドライブを実施しているNPO法人さくらの森親子サポートネットに寄付しました。

5) 3.11 を忘れないキャンペーンを実施して東日本大震災の被災者に思いを寄せると共に、店頭で現状のアピールを続けていきます。 6) 12 月に実施していたレインボーキャンペーンについては、受け入れ先の状況により休止します。	・フードドライブ受付日数を増やすと共に「お米 1 合おすそ分け」を実施し、多くの協力が得られました。 5) 被災地宮城県の高産物販売を年間通して実施し、好評でした。 2/17～3/15 まで「3.11 を忘れない」キャンペーンを実施しました。今年度は、地震や豪雨災害に見舞われた、東日本と能登の支援をすることとしました。店頭で福島「たらしね」の活動や能登の状況をお知らせするパネル展示をし、3 月 11 日には「たらしね」の活動が分かる YouTube の映像をエンドレスで流しました。 年間を通しての店頭募金には、12,690 円が寄せられました。3 月 11 日のショップの売り上げを合わせて 28,000 円を「たらしね」に寄付しました。 また、能登のお菓子を仕入れてキャンペーン期間中に販売し、完売しました。 年度末に実施している寄付先に能登の支援を追加しました。 6) レインボーキャンペーンは現地スタッフの人手不足のため中止となりました。
2. 資源のリユース・リサイクルを推進する事業 1) チャリティーショップ「WE ショップやまと」の運営をします。 ショップスタッフを探しながらボランティアと連携し、ショップ運営に責任をもちます。 2) リメイクが好きなボランティアを中心にリメイク文化を広げます。 3) 廃食油の回収に取り組みます。 4) 同じ目的をもって地域で活動している他のローカル組織と連携し、リユース・リサイクル事業をすすめていきます。	2. 資源のリユース・リサイクルを推進する事業 1) 6 月の運営委員会で年間計画をたてて、ショップ運営を行っています。ボランティアさんのご協力のもと、運営委員一丸となって、ショップ運営に取り組むことができました。 2) 3 月下旬にはリメイクフェアを実施しました。 ・夏以降、ゆかたで作ったパンツが好評でした。 ・リメイク品の提供が多くなっています。 3) 毎月、回収しています。2024 年度は総量 250 kg の回収となり、650 kg の CO₂ の削減ができました。 4) 県央エリアのショップが数か月に 1 回の割合でスタッフ会議を実施し、情報交換をしています。(会場や準備等は持ち回りで実施しています)

5) プリン石けん作りを通して、環境に優しい暮らしを提案していきます。 6) 12月の設立記念日を記念して「お客様感謝デー」のイベントを実施します。 7) ファイバーの行き先である繊維リサイクル・製品製造工場を実施している「ナカノ株式会社秦野工場」に見学に行き、リユース・リサイクルについて理解を深めます。	5) 一昨年作成したプリン石けんを引き続き販売しています。 6) 12/19、20、21日の3日間実施し、プリン石けんや雑貨をお客様にプレゼントしました。 7) 6月28日（金）にスタディツアーの位置づけで（株）ナカノとWEショップ厚木に行きました。（11人）。感想文をWEひろば11月号に掲載しました。 8) 初売りを1/8、9に実施し、300円以上お買い上げの方に1月いっぱい使用できる三角くじ（3～5割割引券）を引いてもらい、好評でした。 9) 和ものフェアを2月に実施しましたが、天候も悪く残念ながら来客は少なかったです。 10) 年に数回の半額セールを実施し、好評でした。
3. 広報活動 WE21 ジャパン大和の活動を広げ、理解を深めるために情報の受発信に努めます。 ・ 情報紙「WEひろば」の発行 3回 各 100枚（初回は200枚） ・ ショップちらしの発行 拡大ちらしやフェア・セールチラシを感染状況を見ながら配布します。 ・ ポスター、支援ニュース、パンフレット等を活用した店内掲示を充実させます。 ・ 会員へ「WEひろば」を発送します。 （3回/年） ・ A看板を活用します。 ・ ホームページやインスタグラムの活用し、広く情報を発信していきます。	3. 広報活動 ・ 「WEひろば」を7月に200枚、11月に100枚、2月に150枚を発行しました。 ・ 夏物半額セールチラシを100枚作成し、店頭で配布しました。 ・ 冬物半額セールチラシ1000枚を、ボランティアに協力してもらい地域に配布しました。 ・ 店頭にて初売りチラシを配布しました。 ・ 毎年、支援報告を掲示しています。 ・ 会員へ「WEひろば」を7月、11月、2月に郵送及びメールにて送りました。 ・ A看板は季節ごとや行事のお知らせ等に活用しています。 ・ 総会後にホームページを書き換えると共にインスタグラムで随時情報を発信しています。

・フードドライブに参加します。	・毎月1日にフードドライブを実施し、相模大塚のわけあい拠点の「みんなのスペースわにわに」に届けています。 ・貧困なくそうキャンペーンにあわせて、10/15～19まで実施、同時にお米1合寄付の受付も実施しました。
4. 組織活動 1) 運営委員会 ①事業活動の執行に責任を持ちます。 ②WE21 ジャパン大和の運動を地域に広げ、会員の拡大に努めます。 目標：40人（期首会員数 37人） ③WE21 ジャパン及びショップ運営の充実を図り、運動を広げるためにボランティアの参加拡大をすすめます。 2) WE 講座の開催 WE21 ジャパン大和の活動について学び、問題意識の向上をめざして実施します。今年度も総会後に開催します。（テーマはフードドライブについてです。） 3) ボランティアミーティング ボランティア・ショップスタッフ・	4. 組織活動 1) 運営委員会 ①・5/24（金）に桜丘学習センターにて総会を開催しました。出席者：16人（会員11人） 総会後にWE講座（フードバンク活動について）を開催しました。（参加者：19人） ・年間活動計画をたて、それに沿って活動を進めました。 ②会員の拡大 年度末会員数は36人です。会員拡大に向けての活動が重要です。 ③ボランティアの拡大 ・チラシを作成し、店頭で配布しています。 ・3人のボランティアが増えました。（新聞販売店発行の折り込みチラシ、ボランティアセンターの紹介、現ボランティアのお誘い）また、しばらくお休みしていたボランティアさんも参加してくれています。 ・夏は懇親会に代えて、ボランティアさんに金券付きの残暑見舞いを送りました。 ・1月には久しぶりに一堂に会して、昼食をとりながら懇談し、親睦を深めることができました。（参加者15人） 2) WE 講座の開催 ・テーマ：「ごはんのおかわりは無しだよと言っているの」という声から始まったフードバンク活動 講師：伊知地るみさん（NPO法人さくらの森・親子サポートネット 理事長） 志村隆子さん（同法人事務フードバンク担当） 3) ボランティアミーティングの開催 ・1回目 9/18 開催 7人（ショップにて）

運営委員が交流し、ショップ運営や支援活動等について理解を深められるよう定例化して開催します。	毎年7月と9月に開催していますが、今年度は6月末にスタディツアーを実施したので、9月に第1回を開催しました。 内容：ショップ運営・「貧困なくそう」キャンペーンについて
5. 平和な社会の実現に向けての活動 さまざまな情勢を捉えながら、平和にむけた運動に取り組みます。	5. 平和な社会の実現に向けての活動 ・10月12日に開催されたピースフェスティバルに参加し、プログラムに広告を出しました。
6. 他の市民団体等との連携 活動の拡大をはかるため他団体との交流に努めます。 ・コミュニティオプティマム福祉地域協議会大和に参加します。 ・イベントや講座へ参加します。 ・学生のボランティアを受け入れます。 ・ワーカーズ・コレクティブ協会や大和市の就労支援事業に協力します。 ・フードドライブに参加します。	6. 他の市民団体等との連携 ・コミ・オブ連絡会に参加しています。今年度は参加メンバーが会計の役割を担っています。 ・10/12 ピースフェスティバルに参加しました。 ・12/5の市民活動センター主催のカッコーフiestaにパネルで参加しました。 ・単位取得のためにボランティア実施をしている学校の高校生1人を受け入れました。 ・夏休みに市民活動センターからの依頼で3人の中高生のボランティアを受け入れました。 ・ワーカーズ・コレクティブ協会から問い合わせはありましたが、都合により受け入れには至っていません。 ・毎月1日に実施し、寄付された食料品をわけあい拠点に届けています。
7. 企業や事業者との連携 1) 社協の赤い羽根共同募金活動に参加します。 2) イオン大和店の黄色いレシートキャンペーンに引き続き参加します。	7. 企業や事業者との連携 1) 今年度の募金活動は10/21～10/31まで、店頭に募金箱を置いて実施しました。募金額は4,866円でした。 歳末たすけあい基金から5万円の寄付を受けました。 2) イオン大和店の黄色いレシートキャンペーン昨年度分、13,000円を助成金として頂き、ショップで使用する消耗品等を購入しました。 今年度の参加申し込みをしました。